

# 胃カメラ検査、3つの方法と特徴

## □ 通常の、口から管を挿入する方法

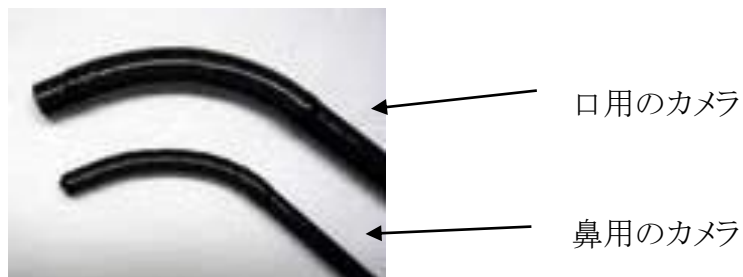
- ・ 一般的な方法です
- ・ おえつとなる嘔吐反射がでやすいという短所があります
- ・ 通常、検査が終了しましたらお帰りいただけます

## □ 眠った状態で口から挿入する方法

- ・ 嘔吐反射が強い方、緊張などで胃カメラが苦手な方のご希望で行える方法です
- ・ 点滴を行い鎮静剤を使用するため、眠っている間に検査が終了します
- ・ ただし、鎮静剤の効果が薄れるまでの約2時間はベットでお休みいただかなければなりません
- ・ 判断力がにぶり危険を伴いますのでお車を運転されてのご帰宅はできません

## □ 鼻から挿入する方法

- ・ 嘔吐反射がでにくいという長所があります
- ・ 検査中会話が可能です
- ・ 麻酔は鼻からのスプレー麻酔です
- ・ 鼻炎などで鼻閉がある場合は挿入できないこともあります
- ・ 複雑な処置などが必要な場合にはこの方法はとれないことがあります
- ・ 検査後、鼻出血をきたす事があります
- ・ 通常、検査が終了しましたらお帰りいただけます



口から入ると 鼻から入ると

口から入るとここにカメラがふれ嘔吐反射がでます

鼻の場合は触れる事が少ないので嘔吐反射がでにくいです

